

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
日本史: Japanese history		3MESC	2	90分×30回	履修	講義・通年	—
教員名		岩元 修一: IWAMOTO Shuichi					
授業概要	<p>学校で学ぶ体系的な日本史の授業は最後となることから、限られた時間の中で、出来る限り新しい時代の学習と日本史全体の通時的な把握を、周辺の国・地域との関わりの中で行えるように配慮した。あわせて技術の歴史にも目配りを忘れないように展開を工夫した。日本史の中の地域の違いや周辺諸国との関わりに留意することで、「さまざまな文化や歴史に触れ」、「他者や他国の立場を視野に入れて幅広い見地から物事を判断できるように授業内容を構成した。</p>						
到達目標				評価方法			
<p>①日本史の通時的展開を各地域、各国との関わりの中で理解できる。②日本史の共時的展開を各地域、各国とのいわば横の関わりの中で理解できる。③各地域、各国、各時代に生きた異なる人々の立場や文化・歴史を理解できる。</p>				<p>①試験60%(1回が15%、計4回)、②自学自習の課題40%(うち、口頭試問20%、小テスト・レポート課題20%)とする。なお、単なる欠席の場合、提出物の成績は、通常の試験と同じ扱いとするので注意すること。</p>			
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(1)			
授 業 計 画	回	項目	内 容	回	項目	内 容	
	第1	導入(1)	シラバスについての説明および現代の社会の概要(1)を説明する。	第16	昭和戦前期の日本(5)	日中戦争から太平洋戦争への動きを中心に説明する。	
	第2	19世紀の日本(1)	江戸時代と明治時代初めを比較しながら変化を中心に説明する。	第17	昭和戦前期の日本(6)	太平洋戦争の始まりを中心に説明する。	
	第3	19世紀の日本(2)	これまでの歴史をふまえつつ明治時代の日朝関係を中心に説明する。	第18	昭和戦前期の日本(7)	戦争のあり方を中心に説明する。	
	第4	明治の日本(1)	日清戦争を中心に説明する。	第19	占領期の日本(1)	戦後の占領のあり方を中心に説明する。	
	第5	明治の日本(2)	日清戦争後から日露戦争までの日本を中心に説明する。	第20	占領期の日本(2)	占領政策の転換と独立を中心に説明する。	
	第6	明治の日本(3)	日露戦争を中心に説明する。	第21	20世紀後半の日本(1)	安保改定と経済の成長を中心に説明する。	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	
	第8	明治の日本(4)	①試験の解答、②日露戦後の日本を中心に説明する。	第23	20世紀後半の日本(2)	①試験の解答、②戦後の経済の展開を補足する。	
	第9	大正の日本	第一次世界大戦を中心に説明する。	第24	20世紀後半の日本(3)	冷戦の終わりと21世紀の日本を説明する。	
	第10	大正・昭和初めの日本	1920年代の経済恐慌の話を中心に説明する。	第25	奈良時代	神と仏の関係の変化を中心に説明する。	
	第11	昭和戦前期の日本(1)	1920年代末から30年代の経済のあり方を説明する。	第26	平安時代	本地垂迹説を中心に説明する。	
	第12	昭和戦前期の日本(2)	1920年代から満州事変までの日中関係を中心に説明する。	第27	鎌倉時代	新たな宗教の成立を中心に説明する。	
	第13	昭和戦前期の日本(3)	満州事変から日中戦争までを中心に説明する。	第28	戦国時代から江戸時代	戦国から江戸にかけて変化した宗教のあり方を中心に説明する。	
	第14	昭和戦前期の日本(4)	日中戦争を中心に説明する。	第29	江戸時代から明治時代	江戸から明治にかけて変化した宗教のあり方を中心に説明する。	
第15	まとめ	①解答、②レポート課題および現代社会の概要(2)を説明する。	第30	まとめ	①解答と全体の学習事項をまとめ、②授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		レポートなどの課題を課す。					
関連科目		現代社会、世界史、倫理					
教科書		『日本史』(東京書籍)					
参考書		『詳説日本史図録』(山川出版社)					
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。					
副担当教員							
備考		テキスト・図録は毎回必ず持参すること(不携帯は減点の対象になります)。欠席状況は各自で確認すること。					